

みなさんの笑顔をお届けします…

カメラレポート

毎月15日号では、市民のみなさんに季節の話題や出来事などをお伝えします。



清らかな流れ、下流まで届け 市内河川でカワゲラウォッチング 《8月18日》



川にすむ水生生物を調べることにより、河川の水質を判断する「カワゲラウォッチング」が宮川と荅川の5カ所で行われ、小学生52人が参加しました。

子どもたちは網で川底や石の裏に潜む昆虫を採取。中橋や越後橋で、きれいな水にすむカワゲラが採取できると、大きな歓声があがりました。

期待高まる、耕畜連携 飼料用稲の収穫行われる 《8月26日》



今年から始まった「飼料用稲（稲発酵粗飼料）」の収穫が国府町で行われました。

市では、畜産の飼料自給率向上のために、米の生産調整達成に向けた取り組みの一環として飼料用稲の作付に取り組んでいます。

当日は、稲をロール状にまとめる専用収穫機の実演があり、訪れた方の興味を集めました。

鼎談し、環境保全と連携を確認 三俣蓮華岳で三市長がサミット 《8月28日》

高山市、富山市（富山県）、大町市（長野県）の3市境にある三俣蓮華岳（標高2,841m）で、3市長が「山岳観光サミット」を開催しました。

サミットでは、最近の登山者の傾向や山の植生状況などの報告があったほか、山岳観光の推進や環境保全について3市が連携して取り組むことや、サミットを契機として地域連携していくことが確認されました。



左から、森富山市長、牛越大町市長、荒井副市長（三俣山荘にて）



高山への就農移住に弾み 飛騨高山就農体感ツアー 《8月29日・30日》

高山市への就農移住を促進するため、農業に関心のある方や移住に興味のある方を対象に「就農体感ツアー」が行われ、東京や名古屋から12人が参加しました。

参加者は、ほうれんそうの収穫や調整作業などを体験したほか、農業者から就農までの話など生の声を聞きました。また、移住定住実践者や地元の方々との夕食会で交流を深め、参加者は高山への就農移住の具体的なイメージをつかんでいました。